

線 射 放

アフリカ・
ルワンダ情勢
が紙面をにぎ
わしていたこ
ろ、ザイル
のキャンプでルワンダ難
民の救援活動を行っていた
フランスのボランティア
ア団体が、突然活動を中
止して撤退した。

キャンプを支配してい
たルワンダ旧政権のフツ
族勢力からの脅迫が直接
の原因だが、それはフツ
族と敵対するツチ族主体
のルワンダ新政権を、フ
ランスが承認し
たためのことら
しかった。
フランスと長
く友好関係にあ



ったフツ族は、フランス
に裏切られた、という気
持ちになったらしい。
フランスに限らず、か
つて欧州の列強はいずれ
もアフリカを植民地支配
し、現地の諸事情を顧み
ることなく国境線を引い
たことが、現在のアフリ

歴史的背景

カ各地での地域紛争の主
因となっている。
欧州の国々は、実は紛

争の陰の当事者なのだ。
ルワンダ難民の支援に
おいて、われわ
れ日本のNGO
が活躍できたの
は、歴史的に何
の利害関係もな

かったからだろう。旧ユ
ーロにおけるNATO軍
にドイツ軍が参加するこ
とに強い異論があったの
も、あの「第二次大戦の
ドイツ」とのかかわりに
よる。
アジアを舞台に日本の
か。

また、北朝鮮の問題へ
の関与には、韓国側から
意見が出ることもあり得
る。

いざというときの人道
支援を、どのように行っ
たのか、外交配慮も含め
て、官民ともに真剣に検
討しておくべきではない
だろうか。

(小林 米幸＝AMD
A・アジア医師連絡協議
会日本副代表)